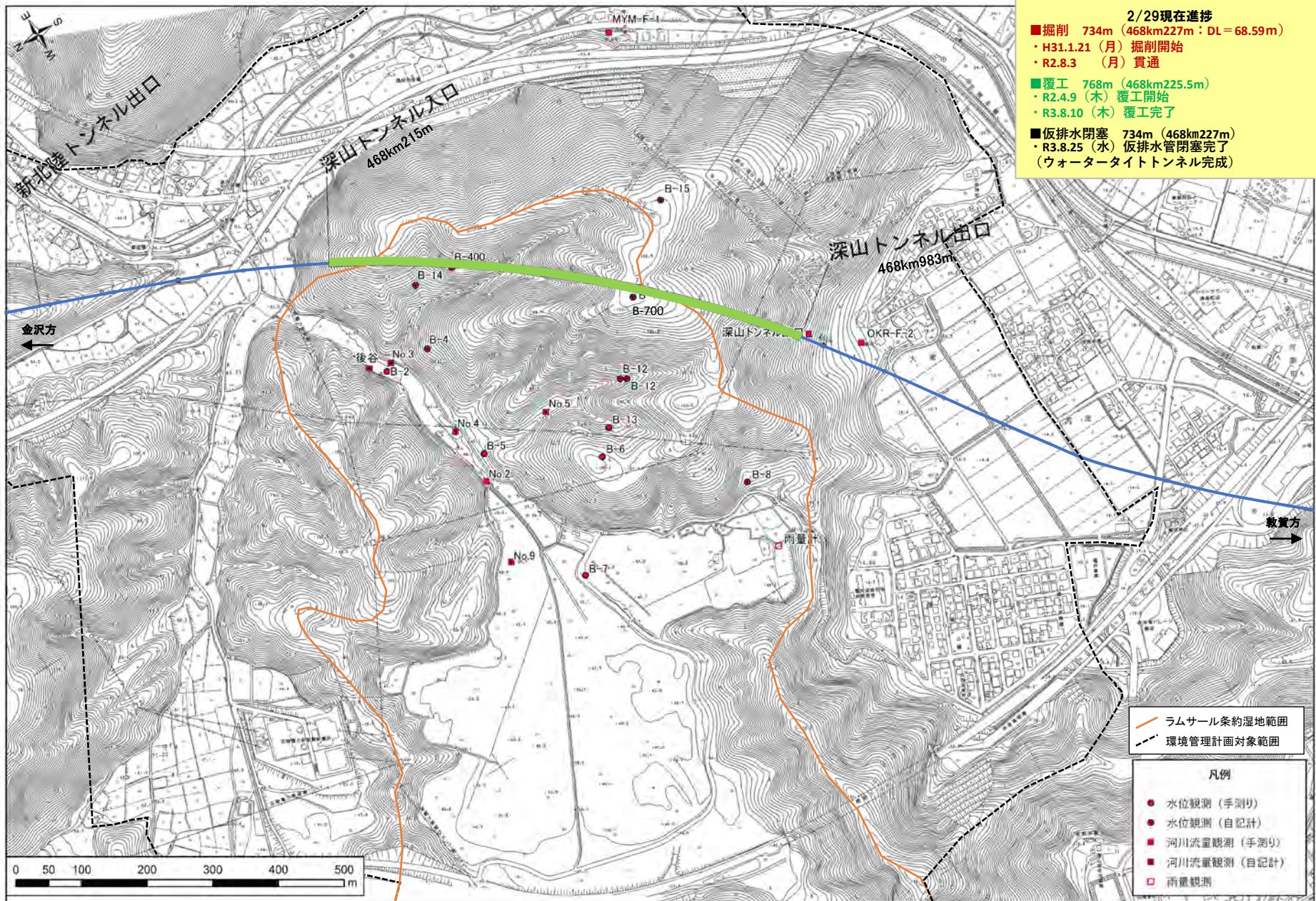


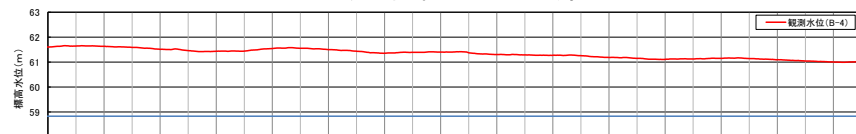
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和6年2月1日（木）～令和6年2月29日（木）

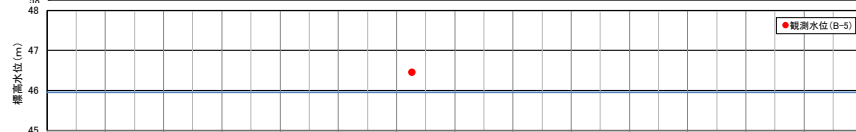
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



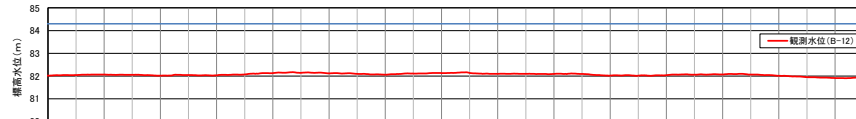
※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図（自記記録）



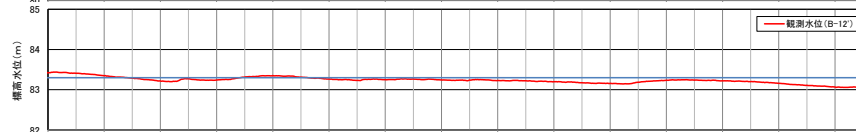
B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m



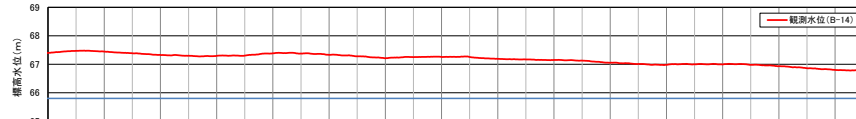
B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m



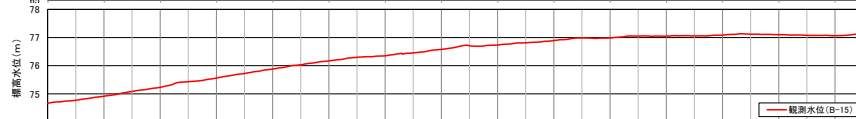
B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m



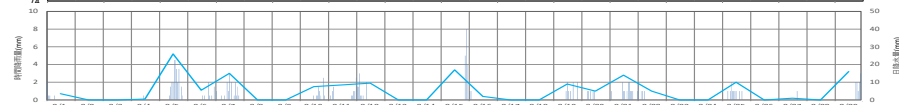
B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m



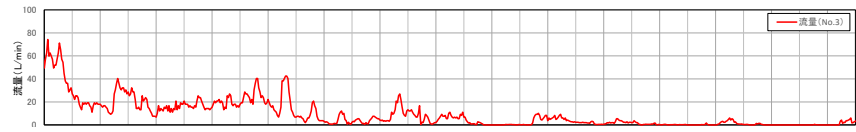
B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m



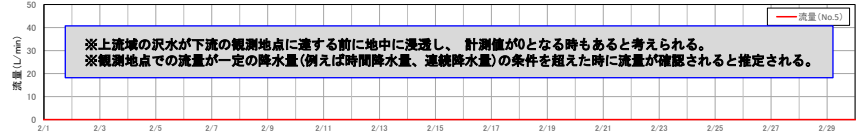
B-15 地下水位



流量観測結果図（自記記録）

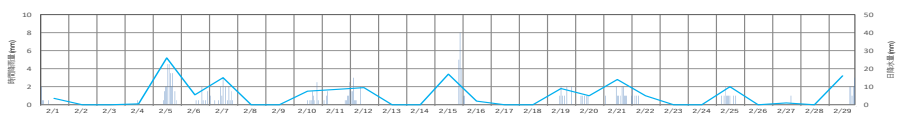


No.3 流量



No.5 流量

※上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透し、計測値が0となる時もあると考えられる。
※観測地点での流量が一定の降水量（例えば時間降水量、連続降水量）の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。



全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
□変動あり

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加：全箇所
□2m未満： □5m以上：

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上（4日） □50mm以上

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概 要

■水位変動について

- ①目立った変動なし
- ②B-4（自記水位計）：期間中の降水に不明瞭ながらも反応を示す。期間中、なだらかに水位は低下しているが過年度最低水位を上回っている。
- ③B-5（手測り）：水位変動はほぼ一定のため、本年から手計りに移行した。過年度最低水位を上回る状態が継続する。
- ④B-12（自記水位計）：期間中水位はほぼ一定である。過年度最低水位を下回っている状態が続くため、今後も注視していく。
- ⑤B-12'（自記水位計）：期間中の降水に不明瞭ながらも反応を示す。過年度最低水位付近で変動しており、今後も注視していく。
- ⑥B-14（自記水位計）：不明瞭ながら降雨に反応する。なだらかに低下傾向であるが、過年度最低水位を上回っている。
- ⑦B-15（自記水位計）：水位はなだらかに上昇し、2/20頃からほぼ一定である。

■流量変動について

- ①No.3（自記）：期間中の降水に明瞭な反応を示し流量は一時的に増加傾向を示す。期間を通して降雨がない時には流量がない状態が生じるが、2/29以降は流量の回復が確認される。
- ②No.5（自記）：期間中は0L/minの状態が続く。
⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
⇒観測地点での流量が一定の降水量（例えば時間降水量、連続降水量）の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①12～1月の日最大降水量：1/13の33.5mmである。
⇒2月の日最大降水量：2/5の26.0mmである。
- ②1月の降水量：201.5mm、2月の降水量：155.0mmである。
昨年1月は227.0mm、2月は115.0mmである。
平年値（敦賀アメダス）は1月は269.5mm、2月は164.7mmである。